



2026 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ドトール・日レスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 星野 正則
(コード番号 3087 東証プライム市場)
問合わせ先 取締役 関根 一博
(TEL:03-5459-9178)

2027 年 2 月期中間連結会計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2026 年 4 月 14 日に公表いたしました 2027 年 2 月期中間連結会計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期中間連結会計期間の業績予想と実績値の差異
(2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1 株当たり 中間純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	83,982	5,740	5,851	4,013	94.70
今回実績値 (B)	85,736	7,384	7,534	5,219	124.15
増 減 額 (B-A)	1,754	1,644	1,683	1,206	-
増 減 率 (%)	2.1	28.6	28.8	30.1	-
(ご参考) 前期中間期実績 (2026 年 2 月期中間期)	79,741	5,347	5,497	3,933	92.07

2. 差異の理由

当中間連結会計期間においては、付加価値を高めた高単価商品の継続的な投入などにより、売上高は引き続き拡大基調にあります。しかしながら、気候変動による災害の多発や地政学リスクの増大に伴う世界的な物価の高騰に歯止めがかかっていない中、原材料価格をはじめ、水道光熱費や物流費、さらに人件費に至るまで、さまざまなコストの上昇が業績に影響を与える状況となっております。

以上のことから、当中間連結会計期間の各段階損益は計画を大きく上回る結果となっておりますが、現時点における通期の連結業績見通しにつきましては、更なる業績の進捗を見極めるため、2026年4月14日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想に変更はございません。

〔予想に関する留意事項〕

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上